



# 銅像山通信 第6号

浅野学園同窓会会報・平成15年 VOL 1

発行日：平成15年4月25日 発行人：浅野学園同窓会



58年ぶりの卒業式に出席した第21・22期の皆さん



卒業証書を授与する淡路校長

浅野綜合中学校  
第21期22期卒業証書授与式



挨拶をする石橋学園長



校歌斉唱で式を終了

## 目次

### 同窓会事業雑感

浅野学園同窓会副会長 岡本順太郎……2

### 80余年の歴史と伝統を踏まえて

浅野中学・高等学校校長 淡路 雅夫……2

### 平成14(2002)年度 浅野学園同窓会総会報告

同窓会副会長 石崎 廣矣……3

### 委員会から(財務・総務・親睦・広報)……………3

### 平成13年度同窓会収支報告・14年度同窓会役員……3

### 58年ぶりの卒業証書授与式……………4

### ・卒業生の声……………5

卒業証書 21期 寺居 敏彦

浅野で受けた教育 22期 志村 幸雄

入学したころの思い出 22期 樋口 義郎

半世紀ぶりの卒業式に感謝 22期 山口 彦之

大東亜戦とともに過したわが中学時代 22期 故神保 信雄  
・第21・22期卒業証書受領者名簿……………5

平成14年度 各クラブの参加状況と活動実績……………6

### 同窓会の更なる活性化へ向けて

浅野学園同窓会副会長 阿部 義広……………7

編集後記……………7

平成15年度 浅野高等学校大学入試合格者数一覧……………8

ご挨拶

同窓会事業雑感



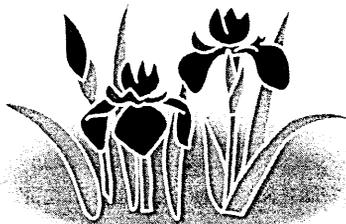
浅野学園同窓会副会長  
岡本 順太郎 (38期)

浅野学園の高校卒業式は、毎年3月10日に行われている。近年、同窓会から、卒業証書の台紙を寄贈させていただいている。阿部義広教頭より、今年は例年より多く作成したいと事前に要望があり、その理由を伺い、承知させていただいた。

太平洋戦争のために交付されなかった21期・22期生に卒業証書を手渡す事になった。本年3月10日現役生の卒業式終了後、当時の卒業生140人のうち、亡くなった人や連絡の取れなくなった人を除く61人を対象とした卒業証書授与式が行われた。その台紙を同窓会から寄贈させていただいた。スクールカラーのえんじ色の台紙に載った卒業証書を受け取った61人の方々にとって、大変貴重な区切りの証である事はもとより、若輩な小生の推察では及ばない意味深いものであろうと思われる。

さて、現在同窓会では、従来の事業に加えて、現役生に対する「奨学金制度」を今期総会で承認を得て実施するべく、総務委員会を中心に準備を進めている。世情の厳しさを増す状況下、家庭の経済環境が悪化し、浅野での学業継続がやぶまれる生徒を対象に、一時的に貸与する制度である。奨学金基金準備金は、平成13年度100万円、平成14年度150万円を予算に計上している。しかし、予算をさらに拡大し、長期的支援が可能な体制を備える事が求められている。それを実施するには、年会費2000円の納入者が、平成13年度865名の現状から、さらに大幅に増大することを期待したい。

一方、卒業生に対する親睦と母校とのつながりを呼び覚ますチャンスを提供する新事業として、卒業20年目の期を対象として、ホームカミングを実施する企画を検討している。この企画を実現するには、運営役員会のうち、親睦委員会と当該年度の各組幹事の方々との打合わせにより具体化が可能になる。予算計上科目のうち、懇親活動補助金として今年度は100万円が計上されている。この一部を有効に活用して、有意義な催しにしていただきたい。ちなみに本年は昭和58年卒か57年卒の方々はその対象になられるのではないのでしょうか。実現を期待したいものである。



80余年の歴史と  
伝統を踏まえて



浅野中学・高等学校校長  
淡路 雅夫 (40期)

平成14年4月から石橋義史前校長に代わり校長職をあずかり、1年が経ちました。同窓諸兄には、日頃学園や生徒諸君に対する物心両面のご支援を賜わり、改めて篤くお礼を申し上げます次第です。

私は、1年前、学校長就任に際しまして、全学に向けて浅野学園に脈々と流れる教育理念の継承を申し述べました。すなわち、浅野は「進学校」であることはもちろんですが、それだけの指導に偏らず、学校行事や部活動を通して、「豊かな人間性」を育む教育を実践したい、「強く逞しい男」を育てたいということです。世間では、「教育改革」という言葉が飛び交っている昨今ですが、浅野は、80有余年の歴史と伝統を踏まえて今日の教育活動、浅野の舵取りをしていくことが、私の責務と認識しております。

さて、同窓会活動ですが、平成13年秋に大出俊前会長が逝去された後、岡本順太郎会長代理(38期)を中心に副会長さんのご協力を得て、会の運営がなされて来ました。役員並びに運営委員諸兄のボランティア活動、ご多用の中のご支援にはひたすら頭の下がる思いです。中でも、長年財務担当として会計を担当されていた役員川下資文氏(45期)が、平成14年11月に50代半ばにして病に倒れ急逝されたことは、私達にとって大きなショックであるとともに、信じられないことでした。改めて川下氏のご冥福を祈りたいと思います。

今回同窓会の動向として会員の皆様にご報告をしておかなければならないことが、2件あります。まず1つは、同窓会による「奨学金制度」についてです。この制度は、平成14年度の総会の折に制定の承認がなされていましたが、この度、弁護士三堀清氏(53期)の助言を得て総務担当の委員を中心にその運用規定を作成し、平成15年度から実施することが出来るようになりました。具体的には、今年度の総会にご報告されますが、経済不況の影響は、学園の生徒の家庭にあっても無縁ではありません。学園としては、常に生徒が安心して教育を受けられるよう努力しておりますが、なお同窓会のご支援を得て、「家庭の家計急変等の経済的事由により、生徒が就学困難になった場合」に、一時的にせよ同窓会からご支援いただけることは心強いことでもあります。関係委員の皆様にも、篤くお礼申し上げます次第です。

次に、平成15年3月10日、高等学校の卒業証書授与式に続いて執り行われた、昭和20年3月卒業の、「第21・22期の卒業証書授与式」についてのご報告です。昭和20年3月といえば、まさに太平洋戦争のさなか、当時は浅野総合中学校に入学したとはいえ、工場への勤労動員などで勉強どころではなかったようです。旧制中学は5年制ですが、昭和16年に入学した第22期の生徒は、戦時のために1年早められて第21期の生徒と一緒に、昭和20年3月の卒業となったようです。その折、卒業証書を受け取る事の出来なかった卒業生から、石橋義史前校長に「証書授与」の強い要望がなされ、今年3月10日一回りも年が違う校長からの卒業証書授与式が実現しました。当日は穏やかな温かい日で、証書希望者61名が遠く福島県、愛知県、熊本県からも出席され、58年ぶりの卒業証書を手にしながら戦争中の青春を改めて回顧されていました。当日の様子は、同窓の方のご尽力によってNHKの6時の首都圏ニュースで放映されたり、翌朝には神奈川新聞、毎日新聞に報道されたため、この半世紀振りの卒業式は学園内外の話題になり、今年の学園の10大ニュースの1つになりそうです。

最後に、同窓会会員諸兄には今後とも浅野学園同窓会の活性化のためのご協力をお願いして、ご挨拶とさせていただきます。

総会報告

平成14(2002)年度 浅野学園同窓会総会報告

平成14年度の浅野学園同窓会総会は、6月8日(土)午後5時10分より、ホテルリッチ横浜において、総務委員横溝貢(31期)の司会のもと、123名の出席を得て開会された。

総務委員小野善一(17期)の開会の辞、副会長岡本順太郎(38期)の会長代行挨拶、新学校長淡路雅夫(40期)の挨拶の後、前年11月8日に急逝された故前会長大出俊(17期)他38名の物故学友に対し、謹んで哀悼の意を表し、御冥福を祈って黙祷を捧げた後、議長に副会長石崎廣夫(15期)、書記に総務委員吉沢瞭一(40期)が指名され、議案書に記載された順に従って議事を進行し、

- ・第1号議案「平成13年度事業報告」(総務委員長加藤勇治(36期)提案)
- ・第2号議案「平成13年度収支決算報告」(会計岩崎正樹提案)  
「会計監査報告」(監事古川高夫(45期)報告)
- ・第3号議案「平成14年度事業計画」(総務委員長加藤勇治(36期)提案)
- ・第4号議案「平成14年度予算書(案)」(会計岩崎正樹提案)
- ・第5号議案「平成14年度役員選任」(副会長岡本順太郎(38期)提案)

以上、全て提案通り満場一致、拍手を以て可決承認され、午後6時15分、総務委員大原恒夫(21期)の開会の辞にて無事終了した。

本年度は特に、①前学校長石橋義史(31期)の学園長御就任に伴い、後任の新学校長に前教頭の淡路雅夫(40期)が御昇任されたので両先生を浅野学園同窓会顧問に御推戴申し上げ、規約により阿部義広新教頭(46期)に副会長に御就任いただき、より一層強固な役員組織で平成14年度の活動を開始すること

②厚生事業として、在校生への支援事業として、特に家計急変時の一時的支援活動としての「奨学金制度」を設立し、予算を計上し委員会を組織して運営すること、当年度中に該当者なき場合は奨学金準備金として積み立てておき、いつでも直ちに対応できるようにしておくこと

以上の2点が本年度の特筆すべき点である。同窓会活動を更に活性化し、充実させるためには、全会員が同窓会に対する理解をより一層深いものにしていただくこと、そのためには、各期会を活性化させていただくことが涵養であり、そのためには、各期の幹事諸兄の一段の御尽力を御願ひ申し上げるものである。総会が、回を重ねるに従って出席者が倍増されるよう期待しながら平成14年度の総会の報告を申し上げる次第である。

【同窓会副会長 石崎 廣夫(15期)】

委員会から

**財務** 委員会発足当時より委員長をされて来ました川下氏が昨年12月病のため永眠されました。同窓会にとっての早すぎる死が悔やまれてなりません。心からご冥福をお祈りいたします。  
会員の皆様には厳しい経済状況の中、また戦争勃発による世界経済の悪化が懸念されている現在を考えますと、現在も年会費を絶えることなく納入していただき本当に深く感謝申し上げます。故川下委員長に成り代わりまして広瀬教諭と岩崎で委員会に努めてまいりますので、会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。(財務委員会 岩崎 正樹)

**総務** 総務委員会では、役員会・幹事会・総会の運営と会議で提案された事項を検討して同窓会の活性化に努めています。平成14年度の懸案であった「浅野学園同窓会奨学金運用規定」を立ち上げることが出来ました。奨学金の運用は、在学中経済的に修学が困難とみなされる在学生の緊急支援をするために保護者に貸付けを行う制度で、平成15年4月から施行されます。この制度をさらに充実させていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。(総務委員会委員長 36期 加藤 勇治)

**親睦** 平成14年度の同窓会総会並びに懇親会が、今年の6月8日(土)、横浜駅西口のホテルリッチ横浜にて開催されました。当日は退職された先生方、新しく役職に就かれた石橋義史学園長、淡路雅夫校長をはじめとする現職の先生方、同窓生合わせて百数十名の参加者を得ての会となりました。総会は、岡本会長代行の挨拶に始まり、議事が進み、懇親会は、高橋洋一(48期)氏の司会により進められました。今回はアトラクションなどを企画せず、和やかな懇親の場として同窓生の親睦が深まりました。なお、今年度は同ホテルにて6月7日(土)に開催致します。多数の参加をお待ちしています。(親睦委員会委員長 48期 齊藤 清紀)

**広報** 平成14年6月21日(金) 出席者 8名  
議案

- ①HPアドレス修正周知徹底について
- ②HP今後のメンテナンス
- ③「銅像山通信」紙面広告のありかた
- ④HP独自ドメイン取得案
- ⑤新メンバー紹介
- ⑥その他

以上について活発に意見交換、②③④については、次回委員会までに情報収集のうえ再度検討とした。

平成15年2月14日(金) 出席者 8名  
議案

- ①特集記事について(58年目の卒業式)
- ②会報発行スケジュール確認
- ③ページ数・記事内容と原稿依頼者決定
- ④HP独自ドメインの決定
- ⑤紙面広告のあり方(再度検討)
- ⑥学校側の要望事項協議

以上の議案につき審議、④以外を決定した。その他HP運営費用につき協議。委員会としての意見統一を図った。次回委員会開催日程協議。(H15年6月を案とした。)

以上は、広報委員会の表面的活動経過です。「同窓会HP」も稼働3年を経過し、アクセスは15年3月現在で15,600近くにもなります。HPに寄せられたメールの返事・学校側及び各委員への転送、また会員依頼によるHP内「リンクの広場」への接続や計報その他のニュース的な情報掲載等の日常活動、その外に総会や懇親会風景等の写真掲載。「銅像山通信」の紙面全容掲載など大きな時間を要する作業も、HP立ち上げ依頼、担当者(48期萩原氏)が日常の本来業務を犠牲にしながら、ホームページ運営・メンテナンスに尽力していることを付記します。(広報委員会委員長 45期 古川 高夫)

(委員名の表中の太字は委員長、※は在校幹事)

●財務  
※岩崎 正樹  
53期※広瀬 昌治

●総務  
36期 加藤 勇治  
17 小野 善一  
18 五谷 十吉  
18 谷口 部  
19 荻 吉恒  
21 大阿 藤  
30 横溝 澤  
31 吉中 賢  
40 新水 康一  
46 熊野 真  
46 熊野 浩  
53 熊野 光  
58 大堤 二  
64 ※

●親睦  
48期 陸奥 清  
20 大上 山  
29 杉 豊  
30 藤 政  
36 加藤 行  
38 菜 池  
40 小池 田  
42 小池 政  
44 小長 治  
48 原 成  
48 高 洋  
75 石 三

●広報  
45期 報古 川 高  
38 古 山 夫  
44 山 石 秀  
48 石 佐 照  
48 萩 藤 日  
49 萩 原 洋  
55 細 野 壽  
58 都 富 泰  
45 ※酒 都 悦  
52 ※岩 都 淳  
58 ※大 野 晴  
浩 生 一 雄 泉 光

●平成13年度 同窓会収支報告 ●(単位:千円)

(支出の部)		(収入の部)	
項目	金額	項目	金額
管理事務費	2,115	会費収入	7,519
事業費	2,940	預貯金利息	1
積立金	2,000	雑収入	75
予備費	0	前年度繰越金	4,210
次年度繰越金	4,750		
合計	11,805	合計	11,805

●平成14年度 同窓会役員 ●

期	役 割	氏 名
31	顧問	石橋 義史
40	顧問	淡路 雅夫
15	副会長	石崎 廣夫
18	副会長	加藤 明
38	一 副会長	岡本 順太郎
46	副会長	※阿部 義広
	会 計	※岩崎 正樹
45	監 事	古川 高夫
53	監 事	※広瀬 昌治

※は在校幹事

浅野綜合中学校  
第21・22期生  
(昭和20年3月卒業)

# 58年ぶりの卒業証書授与式

3月10日、高等学校の卒業証書授与式に続いて、午後12時30分から第一会議室で浅野綜合中学校第21・22期生の卒業証書授与式が行われました。太平洋戦争末期の混乱で卒業証書を受け取ることができなかった卒業生61人に証書が授与されました。式には卒業生のご家族や友人も出席し、卒業を皆でお祝いしました。なお式の様子は、当日午後6時のNHKの首都圏ニュースや、翌日の神奈川新聞などでも大きく取りあげられました。この58年ぶりの卒業証書授与式によって、第21・22期生と浅野学園にとっての戦後もようやく終わりました。

◇熊本や新潟・福島など全国各地から集まった卒業生は、写真を見せ合ったりしながら再会を喜び合いました。卒業証書を手にする喜びが会場一杯にあふれていました。

写真を見せ合いながら談笑する卒業生の皆さん



◇式は、吹奏楽部のファンファーレで始まり、物故者への黙祷のあと、淡路校長から一人一人に卒業証書が手渡されました。石橋学園長は、当時の学園内外の状況や卒業証書授与までの経緯に触れながら、卒業生に祝辞をおくりました。

◇第21期生を代表して菅野功さんは「関係者の皆様のおかげで卒業証書を頂くことができ、万感胸にせまる思いです。学業半ばで予科練や陸軍少年航空兵に行き、亡くなった仲間もいます。秋には同期会をやっていますが、年々欠ける者が増えて寂しい思いもしてきました。しかし、これからは80・90まで元気にやっていきます。」と挨拶をしました。

一人一人に手渡される卒業証書



◇第22期生代表の山口彦之さんは「理事として在校生の卒業式に出席してきたが、私は卒業証書をもらっていなかったのうらやましく、死ぬまでには証書をもらって棺桶に入りたいとさえ思っていました。今日の式が実現できたことを本当に感謝しています。いままた、戦争になりそうな動きが出てきました。私たちが戦争で味わった体験が、再び繰り返されることのないように、在校生に58年ぶりの卒業式が行われたことの意味を伝えていってほしいと思います。」と挨拶をしました。



◇最後に、校歌を斉唱して、卒業証書授与式は終わりました。



昭和18年10月、戦局の悪化に対応するために政府は閣議を開き、中学校の修業年限を4年に短縮するなどの措置をとった。浅野でも昭和20年には22期生の修業年限を1年繰り上げ、21期生（5年制）と合同で卒業式をすることになった。しかし、昭和17年から始まっていた横浜空襲は日を追って激しさを増し、3月10日の卒業式を26日に延期しても、参加できない卒業生が多数いた。

22期生代表の挨拶(山口さん)



58年の思いを胸に校歌斉唱



卒業生の声

卒業証書

21期 寺居 敏彦

此の度、58年ぶりに卒業証書を受領する為、学園を訪れました。建物こそ変わりましたが、運動場、銅像山は昔のままで懐しく、昭和20年3月(17歳)頃を思い浮かべました。戦争末期で、授業を受ける事が出来ず、勤労働員で永い間工場勤務を余儀なくされ、正に、青春真っ只中の時でした。

此の時、皆で汗を流した事は、長い人生にとって決して無駄ではなく、戦友と共に力を合わせ頑張った事が、新たな友情を生む結果となり、以来今日まで家族同士の付き合いにまで発展した友を得る事が出来ました。

浅野で受けた教育

22期 志村 幸雄

半世紀遅れの卒業証書授与式で信時潔作曲の校歌と君が代を歌った。我々の時代は2部合唱になっていて、1小節おくれて歌う上級生にびっくりしたものである。君が代も2部で歌っており、結構進んだ学校であった。この音楽教育のせいが70歳過ぎの今でも、合唱をして楽しんでいる。3年生後半からは勤労働員であり、従って教室での思い出は少ないが科学部(物象班と言っていた)は楽しい思い出で一杯である。今も毎年、荒井文治先輩をだしにして集まっている。昨年つくった文集「われら集う」に当時の記録がある。

なお、大学卒業後は、筑波の通産省繊維高分子材料研究所から関東学院大学に移って若者に化学を教える仕事に20年近く拘わったが、浅野で受けたような教育を次の世代に伝えることが出来たかどうか反省している。

入学したころの思い出

22期 樋口 義郎

毎年開かれる同窓会に出席の時、坂を登って行くと、坂の上に桜の木が見えてきます。希望に燃えて入学した頃に植えた桜でした。

当時殆どの建物が木造だったのに、講堂とそれに続く校舎は鉄筋コンクリート造り。しかも定礎が昭和3年4月10日だったので、びっくり。私の誕生日とぴたり一緒。

その年に大戦が勃発しようなど夢にも思わず、授業の一つ一つが物珍しく、楽しく校舎中を跳ね回っていたものでした。

半世紀ぶりの卒業式に感謝

22期 山口 彦之

昭和56年から病気で倒れた平成13年まで20年のあいだ、母校の理事をつとめた。この間は、ほぼ毎年3月10日におこなわれる卒業式に出席し、後輩の門出を心から祝ってきた。一方、私はどうだったかと思い出しても、卒業式で卒業証書もらった記憶がない。私たち第22期生は昭和16年に浅野総合中学校に入学し、その年12月に太平洋戦争が始まった。旧制中学は5年制だったが、戦時中のために

卒業が1年早まり、昭和20年3月に4年生で卒業させられた。その年8月に戦争が終わった。まさに私たちは、太平洋戦争の全期間を浅野で過ごしたといつてよいし、といつてもかなりの勉学の時間を学校よりも工場などでの勤労働員に割かなければならなかった。卒業予定の昭和20年3月ごろは毎日が工場勤務で、米軍機が毎夜のように襲来し、卒業式がおこなえる状況ではなかった。5月には横浜大空襲があり、学校の木造校舎が全焼した。

平和な時代に学んで巣立っていく後輩の卒業式に立ち会うたびに、母校の卒業証書をいただきたいの思いが募るばかりだった。そこで、平成7年に地上7階地下2階の新校舎が完成した機会に、当時の石橋校長に戦時中のために私たち第22期生は1年先輩の第21期生を含めて卒業式をおこなっていないことを申し上げた。

今年3月10日に58年ぶりの卒業式で卒業証書をわが手にして感無量のものがあり、同期生および1年上の第21期生の人たちと負の遺産を清算したことを喜び合った。学園長、学校長をはじめとする学園の皆様のご尽力に深く感謝したい。

第21・22期卒業証書授与・受領者名簿

第21期

天野 庸男	飯田彌壽男	菅野 功	加藤 後大
清水登美郎	高山美智雄	寺居 敏彦	矢澤 昭二
神田 忠夫	根岸 昇	丹羽禮次郎	間宮 昭一

第22期

浜葉 信男	水元 明	猪俣 忠男	金谷 一正
西島 昭夫	大畑 禮典	落合 幸光	榊原 泰三
佐々木 隆	佐藤 武宏	清水義之助	志村 幸雄
添田 哲治	高橋 和夫	渡邊 博毅	山崎 實
福島 國雄	伊東 克己	金森 邦夫	幸田 紀典
森 彬	森部 暢夫	中込 昭三	中島福三郎
丹羽 忠夫	齋田 英一	佐野 昭三	佐藤 康夫
鈴木 義一	高山 美彦	山口 彦之	吉住 齊泰
高橋 保	山崎 允	平野 孝	樋口 義郎
川村 正高	小柳 昭	黒澤 達美	松本 清
村上 芳郎	中村 進	成川 和夫	佐藤 敏郎
關崎 彰	田村敬之助	渡邊 國和	山本 忠
吉見 勝行			

以上の61名に卒業証書が授与されました。なお、お祝いのために22期の岩崎保・大野義雄・野本照和の3名の学友も卒業証書授与式に出席しました。

(敬称略)

浅野で学んだ4年間で、太平洋戦争の開戦から終戦までそのまま重なった22期の卒業生—故神保信雄氏は、58年前の卒業式前後の状況を浅野学園五十周年記念誌『打越の丘』に次のように寄稿しています。

……勤労働員の日をさいて四年生と五年生が同時に卒業式を行なうという、卒業式らしくない卒業式をやって巣立ってから今年の春で、はや25年の歳月が流れている……

昭和19年…戦局は悪化の一途で、授業は少なくなり勤労働奉仕の時間がふえてきた。富士山麓滝ヶ原の野外教練を終えて学校に戻って暫くしたら、学徒動員令による勤労働員が決定され、ついに卒業の日まで勉強する日が一日もなくなってしまうことに相成る。派遣先は川崎の日蓄工業(現日本コロムビアKK)であった。仕事は電波兵器の組立や計器類の配線加工等であった。動員は7

月から始まり夏休みはなかった。11月に入ると最初の東京空襲があり、いよいよ戦局も大詰めという感じになった。

昭和20年、勤労働員の中で新春をむかえる。中学も4年で卒業ということが決り、なんとなくあわただしい学年末となった。といつても動員のあけくれであり、その日その日をさまよっているという感じであった。3月10日の恒例の卒業式の日には東京大空襲のおまけがついただけで、とうてい出来る状態ではなかった。…かくて桜の4月末、最初に書いた様な卒業式を、「花も蕾の若桜、五尺生命ひっさげて」と学徒動員の歌とともに、むかえるのである。さしもの戦争もこの年の8月15日に我が国の全面無条件降伏により終りを告げた。

(「大東亞戦とともに過したわが中学時代」より抜粋)

## 平成14 (2002) 年度 各クラブの参加状況と活動実績

ク ラ ブ 名	顧 問	部員数	主 な 活 動 や 実 績
アーチェリー部	松岡 押田 小西	40人	関東選抜大会出場。横浜市民大会1位・2位。
アメリカンフットボール部	斉藤 沼澤 森	3人	春季神奈川県大会3位(合同チーム)。関東選抜に1名選出。
剣道部 (高校)	前川 原田	43人	倉沢杯争奪高校剣道大会団体3位。関東大会神奈川県予選ベスト16。
〃 (中学)	加藤勉		神奈川県剣道錬成大会団体3位。同新人大会団体3位。
サッカー部 (高校)	永山 波田野	49人	横浜市大会ベスト8。
〃 (中学)	芳賀 酒井	68人	私立中学大会3位。 神奈川県種目別大会優勝。神奈川県夏季新人戦・同冬季新人戦優勝。 第5回横浜国際競技場杯3位。
柔道部	平山 西澤 大川	36人	(中学) 私立中学大会・神奈川県大会で入賞者多数。全国中学大会予選神奈川県大会に4名出場。横浜市大会5位入賞(2名)。神奈川県大会ベスト16(3名)、5位入賞(1名)。
水泳部	愛甲 土門 河田	28人	(中学) 神奈川県大会優勝。全国中学大会出場。関東大会2・3位入賞。
卓球部 (高校)	奥野 越智 鈴木	60人	県大会3名出場。ダブルス市大会ベスト8。
〃 (中学)			神奈川県大会個人3位。
テニス部	広瀬 灘山 持丸 金子 小林	130人	神奈川県新人戦シングルス本戦ベスト32。 同ダブルスベスト32(2名)。
登山部	比留間 麻生 大塚重	21人	
ハンドボール部 (高校)	山田 吉澤 徳山	128人	神奈川県大会新人戦4位。横浜市大会新人戦2位。
〃 (中学)			関東大会予選ベスト8。 横浜市大会新人戦優勝。
バスケットボール部 (高校)	田中邦 堤 更田	52人	
〃 (中学)	稲葉 大塚剛	51人	神奈川県1年生大会優勝。
バドミントン部	山崎 安井 今井	40人	横浜市冬季大会ベスト16。
バレーボール部	中村 里見 伊藤	25人	(高校) 神奈川県大会出場。
ボクシング部	永岡 庄子	15人	関東大会神奈川県予選ライトウエルター級優勝。 神奈川県大会新人戦1年フェザー級・ライトウエルター級優勝。
野球部 (高校)	柏崎 大野 岩崎薫	50人	春季神奈川県大会出場。
〃 (中学)	宮坂 山下	80人	神奈川県大会新人戦4位。
ラグビー部 (高校)	岩崎泉 佐藤	20人	地区大会2位。
〃 (中学)	磯崎	10人	
陸上競技部 (高校)	八木 石井 古梶	19人	神奈川県大会4名出場。関東大会やり投げ部門で8位入賞。
〃 (中学)	安部		神奈川県大会1名出場。
遺跡研究部	小野木 麻生 磯崎	10人	夏合宿(伊豆長岡一帯の巡見。北条氏中心テーマに城めぐり。)
劇団こぎと(演劇部)	稲葉 比留間	23人	横浜市高等学校演劇連盟より、最優秀団体との推薦を受け、かながわドームシアターで行われた『全国高等学校総合文化祭かながわ2002カウントダウン100日前イベント』に参加し、公演を行った。横浜市大会(春季)最優秀賞他2賞。
化学部	本多 更田 徳山	19人	
棋道部	小崎 橋本 関谷	25人	夏季神奈川県大会団体3位。春季県大会個人戦3位。
時報部	西澤 石井 阿部	9人	神奈川県大会で努力賞受賞。東京新聞1日記者として取材に挑戦。
吹奏楽部	曾我 松岡 宮坂	36人	定期演奏会開催。コンクールブロック大会銅賞。
生物部	吉澤 大塚剛	42人	合宿(8月 阿武隈周辺) 打越祭人気投票団体参加部門2位(9月)その他に、施設見学・野鳥観察・釣など実施。
地学部	波田野 庄子 小林	13人	中伊豆へ鉱物採集(7月) 夜間観測(12月) 新顧問に小林先生を迎える。
鉄道研究部	大野 堤 佐々木	23人	全国高等学校総合文化祭に出場し、大会の運営・研究発表・作品展示等を行う。高文連会長賞(ジオラマ)・鉄道研究専門部会長賞(ジオラマ・車両コンテスト)受賞。神奈川県高等学校総合文化祭の鉄道研究発表会において研究部門で教育長賞受賞。(平成6年度より9年連続受賞)
美術部	加藤幸 田中賢	11人	高校文芸コンクール詩の部門で佳作に入選。
物理部	小西 安部 沼澤	21人	スパコン出場。
J R C 部	前田 大塚重	8人	車椅子寄贈のためにプラタブ回収を行う。

体操部・書道部・写真部・オーディオビジュアル部は、部員がいないので現在活動中止中です。

## ご挨拶

## 一同窓会の更なる活性化へ向けて



浅野学園同窓会副会長 阿部 義広 (46期)

同期の親しい仲間はほとんど同窓会活動に参加しません。年齢的に、仕事が忙しい、子供の進学や結婚に物入りだ、疲れやすく健康が気になる等々、気持ちに余裕がないのは確かですが、毎月のように酒を飲む仲ですから、総会や懇親会への出席を半ば侘喝めいて頼んでみると……、会費が高い、親しい仲間と飲む酒のほうが美味しい、群れたくない、男だけだからつまらないと、同窓会の中心で動いているこちらの気持ちの付度などまったくなく、言いたい放題です。

しかし冷静に受け止めてみると、こうした率直な物言いは、同窓会活動に積極的に参加しようとはしない会員の標準的な意見に思われてなりません。活性化委員会で同窓会活性化の方途を探り、役員会、幹事会でそれを実践してきた現在は、確かに以前より活発な活動がなされ、参加してくださる同窓会員の数も増えました。が、誤解を恐れずに書けば、これは「外側からの活性化」

にすぎず、同窓会員の中から内発的に起こった「内側からの活性化」ではありません。同窓会員の頑なに心をどう刺激し、その冷めた心にどう訴えるかということに欠いた活性化は会員から遊離したものでしょう。

今後は、役員会を中心にして「内側からの活性化」という活性化の第二段階へ進まなければならないわけです。今はその方策は何も見えませんが、その重要なヒントは、3月10日の卒業証書授与式に参集された21・22期の卒業生諸兄の浅野学園に対する熱い思いです。校歌を歌いながら涙するその先輩方の心ばせです。心揺さぶられました、感動しました。こうした学園への思いを各期の同窓会員に持ってもらえたら、そこに真の活性化が成されると確信しています。

微力ではありますが、その真の同窓会活性化へ向けてのお手伝いをと心新たにしています。ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。  
(浅野中学・高等学校教頭)

## 掲示板

同期会の案内、その他同窓会員への広報を目的としたくお知らせを掲載ご希望の方は原稿をお寄せください。  
〔浅野中学・高等学校 酒井晴雄まで TEL 045-421-3281  
FAX 045-421-4080〕

## No. 1 浅野学園同窓会ホームページ

平成11年6月より運用中！(アクセス数15,800を超えました)

<http://www.allis.or.jp/~asanodou/>

- 同期会、クラブ活動OB会など積極的にご活用ください。
- 名簿登録データの変更も行なえます。
- 個人のホームページへのリンクも行なっております。

## No. 2 平成15年度

## 浅野学園同窓会総会・懇親会

日時 6月7日(土) 総会：午後5時00分～  
懇親会：午後6時00分～  
会場 ホテルリッチ横浜 TEL045-312-2111(代)  
会費 7,000円

※詳細は、本会報と同封の案内状をご覧ください。

## No. 3 (学校より)

## 打越祭

第1部文化祭…9/14(日)・15(月)  
第2部体育祭…9/28(日)(雨天順延)

## 中学入試説明会(予定)

- ・10月21日(火)～24日(土)
- ・4日間とも本校体育館で
- ・詳細は学校にお問い合わせください。

## No. 4 同窓会年度会費(2,000円)納入のお願い

◇必ず卒業年とお名前の読みがなをご記入のうえ、同封の振込用紙でお振込みください。また、6月7日(土)の懇親会の受付での現金でのお支払いも申し受けます。

注意……ただし、72期～80期(平成7年3月卒～平成15年3月卒)の会員は在学中毎月同窓会費をいただいておりますので、年度会費は納入されなくて結構です。

## ◆◆ 編集後記 ◆◆

第5号まで、この銅像山通信起案から編集・校正までを、殆ど手掛けて下さった国語科の阿部先生は、昨年教頭先生にご就任。当該業務を社会科の酒井先生にバトンタッチされました。

その酒井先生も阿部先生と同様バツグンの能力を発揮され、今回も多彩な内容が盛り込まれた第6号を、会員の皆様に無事お届けすることができました。

昨年11月に、同窓会運営に財務委員長として重要な役割を果たして下さった45期の川下資文君が急逝され、同窓会役員一同大きな悲しみに包まれましたが、その痛手も関係役員のご尽力により、欠員のまま大きな支障もなく運営され、感謝しております。

今後も、同窓会の発展を強く望んでいた彼の意思を継ぎ、会員の皆様にとってより良い情報誌とするよう、広報委員全員で努力して行きたいと考えておりますので、会員皆様のご協力を併せてお願い申し上げます。

広報委員会 古川 高夫(45期)

## 『銅像山通信』・第6号

発行日 平成15年4月25日(金)

発行人 浅野学園同窓会

発行所 ㊟221-0012

横浜市神奈川区区子安台1-3-1

浅野中学・高等学校

TEL 045-421-3281

FAX 045-421-4080

編集 浅野学園同窓会広報委員会

印刷 ㊟108-8378

港区芝4-6-12

(株)廣濟堂 東京事業部

TEL 03-3453-0550